

機械器具(51) 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 チューブ用クランプ JMDNコード:43223000

Wexler チューブ鉗子

【形状・構造及び原理等】

1. 形状(代表例)



全長: 200mm~370mm

2. 原材料

以下のいずれかである。

- (1) ステンレス鋼
- (2) ステンレス鋼及びタングステンカーバイド

3. 原理

先端部の2つの咬み合い部によって、把持、結合、圧迫又は支持する。

【使用目的又は効果】

本品はチューブ等を遮断するか、つまむための器具である。

【使用方法等】

1. 本品は未滅菌のため、使用前に必ず滅菌を行う。(【保守・点検に係る事項】参照。)
2. 本品の機能性及び外観に異常がないことを確認して使用する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ** (1) 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
- ** (2) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

滅菌後、清潔で乾燥した場所に保管すること。[錆び付き等の劣化を防ぐため。]

【保守・点検に係る事項】

1. 保守・点検に係る注意

- (1) 本品は未滅菌のため、使用前は以下に定める方法で滅菌を行うこと。
- (2) 使用後は以下に定める方法で洗浄、注油及び滅菌を行い清潔に保管すること。
- (3) 金属成分の異なる器具は別々に滅菌すること。
- (4) 本品を開いた状態で、ロックのあるものはロックを解除した状態にして、洗浄・注油及び滅菌すること。
- (5) 強酸性/アルカリ性の洗剤を使用すると本品が変色するおそれがあるため、中性洗剤の使用を推奨する。
- (6) 滅菌温度は137度を超えないこと。[ハンドル、絶縁体、又は他の非金属部分が影響を受けるおそれがあるため。]

2. 洗浄・注油

- * (1) 使用后、直ぐに流水で、付着している血液、体液、組織片などを洗い流す。
- * (2) ボックスロックやラチェット部、器具の隙間等は、酵素系の中性洗剤に浸漬させ、柔毛ブラシ等を使用して洗浄し、洗い残しが無いように注意する。
- * (3) 酵素系の中性洗剤を用いて、ウォッシャー・ディスインフェクター又は超音波洗浄機で洗浄を行う。
- (4) 精製水でよく濯ぐ。[洗浄液の洗い残しがあると、滅菌後、染みになるおそれがあるため。]
- (5) 清潔な柔らかい布で水分を拭き取る。
- (6) 可動部分に蒸気透過性かつ水溶性の潤滑油を塗布する。

3. 滅菌

製造元の推奨する滅菌条件は以下の通り。

滅菌方法		高圧蒸気滅菌		
		重力置換式	真空脱気式	
滅菌条件	滅菌温度	121度	132度	134度
	滅菌時間	30分	4分	3分

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: センチュリーメディカル株式会社

電話番号: 03-3491-1095

ファクス番号: 03-3491-1157

外国製造業者: ウェクスラー サージカル社

(Wexler Surgical, Inc.)

国名: アメリカ合衆国